

会 報

やまばと

(第76号)



発行

社会福祉法人 浄泉会

秦野市渋沢2620-2

TEL 0463 (87) 1188

発行人 西田精吾

E - MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

令和三年 新年ご挨拶 社会福祉法人 浄泉会 理事長 西田精吾

新年明けましておめでとうござ

います。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は峠地区の皆様はじめ多くの皆様のご支援、ご指導をいただきまして誠にありがとうございました。昨年はいく御礼を申し上げます。昨年は武漢発のコロナ感染症が広がり現在も続いておりますが、おかげさまで利用者の皆様、職員ともに無事に過ごさせていただいております。

世界的にコロナ感染症が猛威を振るっておりますが、私たちはそのことを想定しながら予防上行うべき事をしっかりと行いつつワクチンが一日も早く接種できますことを願い、全員一丸となつて対応いたしているところでございます。

さて、今年は「社会福祉法人 浄泉会」が平成三年四月に開設して以来三十周年を迎える年になります。三十年前の当時は成人の施設が少なく多くの成人になられる皆様が行き先を探しており、児童施設の園長からは二十歳になったら児童施設を出るように言われ親としては行き先が無く途方に暮れ

る思いでした。

創業者の岡部忠行氏は、秦野市の民児協の会長、秦野市の社会福祉協議会の会長を長年にわたって務めた公正無私の方で、成人の施設が無いことに心を痛めており、七十歳の時に一念発起し、私財を擲つて成人の施設を立ち上げるべく峠地区の皆様のご理解をいただき、又、多くの関係者のお力添えをいただきながら開園を果たしました。

開園に当たっては、法人の理念である利用者様主体の「やまばと学園信条」を制定しそれを会議の都度全員で唱和し今日に至っております。開園当時は、六十名の入所施設でございましたが、その後在宅の障がい者のご家族のご要望の施策もあり、通所センター・グループホームの開設を行い現在に至っております。完成当時の入所施設は四人部屋が主流でありましたが、多くのご家族の皆様の長年にわたる毎月の積立金のご寄付により一昨年に新入浴棟並びに大型エレベーターを含む居住域の全

面改装を行うことができ、明るく綺麗な二人部屋を中心にしたお部屋に改修することができ、利用者様、ご家族の皆様、職員ともに心から喜んでいらっしゃるでございます。

社会福祉法人浄泉会の運営につきまして、開園準備から峠地域の多くの皆様のご支援をいただきました。今日浄泉会があるのはその賜物と心より深く感謝を申し上げます。併せて、グループホームの各地域の自治会長様をはじめ多くの皆様のお力添えがあつてのことと心から感謝申し上げます。各行政の皆様におかれましては日頃のご支援ご指導に心から感謝申し上げますとともに、浄泉会にかかわりのあるすべての皆様にとりまして本年の益々のご繁栄、ご健勝、ご多幸でありますこと
を心よりご祈念
申し上げます
新年のご挨拶と
させていただきます



新年のご挨拶

保護者会会長 細谷 和実

新年あけましておめでとうござ
います。

昨年は新型コロナウイルスに始
まりコロナ対策に一年中追われ、
ようやく落ち着くかと思われまし
たが第三波の感染拡大が止まらず、
今年も引き続き更なる対策を講じ
なければならぬ状況下冬場はイン
フルエンザやノロウィルスの流
行時期と重なりますので各々が細
心の注意を払いこの難局を乗り越
えて行きたいと思います。

前述のコロナ禍の影響で保護者
会も各種行事も中止せざるを得な
い状況のみならず最愛のお子様達
とも会えない日々が続いております。
この様なストレスを抱えるな
か学園では中止になった行事の代
わりに演奏会や食事会等、職員の
方々がアイデアを出し、子供達の
ストレスを少しでも和らげる努力
をしていております。心より感
謝申し上げます。

最後に一日でも早
くコロナ禍が終息し
て皆が笑顔でお会
いできる日を楽しみに
しております。



謹賀新年

はとの会会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうござ
ます。

会員の皆様には、今迄に経験の
ない異なる年明けであるかと思
いますが新型コロナウイルス禍に負
けずに過ごし、いろいろな場面で
出会った事をプラスに前向きに考
え、日常生活が一日も早く戻る年
になるよう祈りたいと思って居
ります。

学園の利用者様も、心身共に
“安心安全”を基

本として、沢山の
優しい心の持ち主
の職員が一丸となっ
て生活全面を支援
してくださってい
る事に感謝してい
ます。



利用者様がコロナ禍の中で
元気で迎えられることも「はとの
会」を支えてくださる会員の皆様
と多くの賛助会員の皆様のご協力
が原点です。これからも「はとの
会」の先々を考えつつ、一步一步
応援してくださる方を求めて、頑
張って行こうと思います。コロナ
終息まで大変な年であります、
今迄同様宜しくお願いします。

支援課への想い

生活支援課 課長 只埜 美奈子

学生時代に体験した実習の中で
一番刺激を受け、楽しかった施設
実習の経験から卒業後は知的障
がいの方と一緒に過ごしたいと思
い、友人からの勧めで受けたのが
やまばと学園でした。人と接する
ことが苦手でも人見知りの性
格なので友人がいて、卒業したば
かりで同じ立場の人が多かったや
まばと学園はとても安心できる場
所でした。そして、まだ建物しか
なく、私達で創り上げていくとこ
ろからの参加となったので自分の
できる事からお手伝いをさせてい
ただくことができました。利用者
様が入所されてくるようになると
どうやって1日を過ごしていただ
くか？が日々の課題になり、一日
中、やまばと学園の周りの山を散
策したり、皆で集まってゲームを
したり、敷地内でバーベキューや
お餅つきもしました。利用者様も
同世代の方が多かったので活発に動き
回りいろいろな所に遊びに行き、
この方はこんなこともできるんだ！
こんなに楽しそうな表情を見せて
くれるんだ！と新たな発見があり
ました。日々の生活でも利用者様

と一緒に悩み、泣き、今思えば
利用者様に育ててもらい、一緒に
成長させていただいたなと思いま
す。

やまばと学園はコミュニケーション
をとることが難しい利用者様が
多くいらつしやいますが、時間を
かけてじっくり関わる、ちよつと
した行動や興味を持った事とこ
とん提供してみたりすること、こ
ミュニケーションが図れると大き
な発見でもうれしく、この仕
事にやりがいを感じたことを思い
出します。

本当に長い時間を利用者様と過
ごす事ができ、私にとって貴重な
経験で、とても有意義な時間を共
有させていただいているとつくづ
く感じる今日この頃です。これか
らまだまだたくさんの方を利用
者様から学び、一緒に経験してい
きたいと思っています。宜しくお
願い致します。



朝ごPANK会

生活支援課 川口 宏美

生クリームがたっぷり乗ったパンはお店でも見かけるようになりました。でも、その



クリームを他の好きな物と組み合わせたり量を好みに加減する事はなかなか難しいですよ？そんな思いから一階の十一月の食事は「朝ごPANK会（あさごぱんかい）」と称して皆でロールパンに好きなクリームを好きなだけ！乗せて食べました。

事前に皆さんから好きなパンの



トッピングを聞き、それをもとに生クリームや餡子、カスタードクリームなど数種類用意して当日は皆さんに選んでいただき、職員がパンにトッピングしました。生クリームに餡子

を組み合わせる方、チョコクリームにいちごクリームを組み合わせる方：皆さん思い思いにカスタマイズされ、鼻にクリームを付けて笑顔でほおばっていました。利用者様、職員共に楽しいひと時となりました。

うちの子自慢

生活支援課 鳥居はるな



第二回は鳥居支援員の愛猫「クロ君&はな君」です。二匹と

も鳥居支援員が縁あって保護した子たちです。男の子同志なのにとっても仲良し。

引き続きうちの子自慢募集中です。我こそは！という方がいらつしやれば広報員会までお声がけください♪（スペースにより掲載出来ない号もあります。ご了承ください）



通所センターの新しい仲間

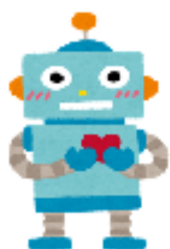
通所支援課 課長 工藤 淳

昨年はコロナで始まり、コロナで終わった我慢の一年でした。通所センターでも普段の外出や行事が縮小され、その中でも少しでも皆さんが楽しめるようにしました。そんな中で十一月の下旬に通所センターに新しい仲間をお迎えしました。お名前は「廣瀬鷹翔さん」です。二十一歳で現在、利用され

ている利用者の方に同じ養護学校の同級生もいらつしやいます。とてもきつちりした性格で細かいことに気が付いてくださいます。他事業所も利用されているので毎日の登所ではありませんが、ご本人はすっかり、慣れてフロアではのんびりと過ごされています。ひろせたかとさん、これからよろしくお願いします。



よく
お願いします



学園の食事について

調理主任 中野 博

学園での大きな楽しみは何といっても食事！と、言うことで今回学園の食を支えてくださったっている精鋭を代表して中野調理主任にお話を伺いました。

Q献立作成について「日常の食事は人気メニューを中心に橋本栄養士が考えています。行事食は私が彩・季節・食べやすさ・蓋を開けた瞬間感動の声がかかるよう考えています。」

Q利用者様の食事風景を見て「毎食美味そうに召し上がっていただきありがたいと思います。」「美味しかったよ」の声が宝物です。

Q中野主任から見た人気メニュー
①私から見たベスト5は①とんかつ②ラーメン系③カレー④オムライス⑤ちらしずしです。

これからも美味しお食事を楽しみにしています♪

※見るだけでワクワクするメニューが貼ってあります



ご寄附をいただいた方々のご紹介

ご寄附をいただいた方々のご紹介
令和二年十月～十二月
貴重な浄財をご寄附いただきました。誠に有難うございます。

○やまばと学園保護者会様
○花ことば歌謡教室 様
○ITエコ村様 ○相原 悦子様
○石井 恵子様 ○栗山 克明様
○小暮 哲也様 ○藤澤 実様
○新沼 勇 様 (順不同)

人事異動

令和二年十月～十二月

○入職者

地域支援課 織戸 四郎

(十二月三十日付)

○退職者

生活支援課 菊川 文明

(十月十日付)

生活支援課 古和田英樹

(十二月三十一日付)



編集後記

明けましておめでとうございませう。新年を迎えられることが一際感慨深い年明けでした。

昨年の外出自粛期間中「何でもいいので休日は本を読む」と決めて専ら昼寝をする猫の横で読書の日々でした。

そんな日常の新しい習慣を活かすことが出来たかは不明ですが、今回機関誌の編集をやらせていただきました。途中、「校閲ガール」なんて言われて気分を良くしておりましたが残念ながら私はあの女優さんでもガールでも無い事に最近気づきました。最近です。

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています

浄泉会やまばと学園

利用者支援「はとの会」

■「浄泉会」法人施設やまばと学園等の利用者支援サービスを効果的に実現するため、利用者の福祉支援サービスを補完充実する。

法人会員 年額1口 20,000 円

個人会員 年額1口 10,000 円

賛助会員 年額1口 3,000 円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)

どこの郵便局でも00220-5-14491です。

口座名は 浄泉会やまばと学園後援会

新しく会員になれる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会担当

〒259-1322 神奈川県秦野市浅沢2620-2

Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

やまばと学園

リニューアルしました！

ホームページ

<http://yamabato.org/>

メールアドレス

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

さて、未だ先の見えない中を歩いているような状態ですが学園では利用者の皆さんの不安が少しでも和らぎ、楽しみを提供できるよう日々奮闘しています。

そんな学園の様子をお届け出来れば、と思います。末筆ですが本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

川口(猫好き)